

標 題 : Nutritional Genomics and the Mediterranean Diet's Effects on Human Cardiovascular Health
ヒトの心臓血管系の健康に対する栄養ゲノミクスおよび地中海食事の影響

著 者 : M. Fitó, V. Konstantinidou (スペイン Institut Hospital del Mar d'Investigació Mèdica (IMIM), CIBER de Fisiopatología de la Obesidad y Nutrición (CIBEROBN), 心臓血管系リスク・栄養研究グループ)

掲 載 誌 : Nutrients. 2016 Apr 13; 8(4): 218.

要 旨 :

種々の食品および栄養素の間の相乗効果および累積効果が、健康的な食事パターンの有効性を作り出すものである。

食事および食事パターンは、我々が1日に数回さらされる主な環境因子である。健康的な生活と加齢を推進して食事関連の疾患を予防するために、人々はこの行動をどのように制御できるかを学ぶことができる。

今日まで、伝統的な地中海食事が唯一の良く研究されたパターンであった。

脳卒中の発症率、脂質組成および血糖を含む古典的な多数の危険因子、テロメアの長さなどの新規の危険因子、および感情的な食事行動は、遺伝的素因によって影響される。

地中海食事の順守はこれらの危険因子に対して良い影響を発揮できる。

これら形質およびその後の心臓血管系疾患進行の結末を上手に予防するには、我々個人の遺伝子構造を考慮すべきである。

今回の仕事で、ヒトの心臓血管系疾患における地中海食事の役割を説明する栄養ゲノミクスの結果を、我々は再検討する。

多くの専門分野にわたる研究方法が、大規模なデータから知識を引き出すのに必要である。

キーワード : 食事パターン、栄養ゲノミクス、予 防
